



# 産業建設

常任委員会

産業建設常任委員会に付託を受けた  
議案について審査した結果、  
主に下記内容が議論されました。

付託  
議案 **22**件  
報告 **1**件  
請願 **1**件

- 委員長/木下 敬夫
- 副委員長/久保 吉彦
- 委員/佐藤 喜典、杉木 勉、高僧 弘、  
今田 勇雄、杉本 忠一

## 【議案第1号】 平成28年度七尾市一般会計予算 ◆創業者支援事業について

- 問 創業者支援事業の補助に上限はあるのか。
- 答 限度額は200万円を想定しているが、今般からは少し審査基準、申請書類等も厳しくしていく中で、落ちることもある。審査員についても厳しく見てもらうということで、その辺を今検討している。
- 問 審査を厳しくするのはなぜだ。もっと創業者を支援していくべきだと思うが。
- 答 今までは街なかの商店街の活性化をメインにしていた。街なかの方も下水処理施設をいれないといけないなど、空き家も少なくなってきて、市内全域に広めた。今までであれば、3年間継続して、空き家で商売を行えば200万円はいく。予算にも限りがあるので、その点を考慮すると、また広くやっていくということで、大変な件数が予定されている。そのなかで、審査を厳しくするというのは、今までが甘かったのではなく、政策金融公庫からの書式に準じてやっていくという思いで詳細な検討をしている。

## 【議案第1号】 平成28年度七尾市一般会計予算 ◆企業立地促進及び雇用の拡大に関する条例について

- 問 1億円かけて仕事すると、5千万円が国からおりて、その残りの半分に対し補助するということなのか。
- 答 はい、そのとおり。
- 問 その場合、七尾市はどれだけの補助をするのか。
- 答 例えば、新設で1億円以上をかけて、5人以上の雇用を生む場合、20%の助成をする内容である。1億円以下のものは対象外になる。ただ、その中で新設と増設がある。増設の場合には5千万円以上で雇用も3人以上と決めがあり、20%を助成する内容となる。

## 【議案第1号】 平成28年度七尾市一般会計予算 ◆能登空港活性化対策について

- 問 新幹線が開業し、能登空港の搭乗率が多少伸び悩んでいるようだが、もう少し宣伝すべきと思うが、考えはあるのか。
- 答 能登の住民の方々に多く乗ってもらっているが、首都圏からも多く利用してもらっており、石川県ではその首都圏からのお客さんをもっと増やそうと新しい事業に取り組む予定で、市も協力して取り組んでいく。
- 問 今の一日2便の時間帯について、より能登の住民に利用しやすい時間帯に替えるような話はないのか。
- 答 地元利用が2割で向こうから来るのが8割という状況で、現在は羽田から九州や他の地方空港に乗り継ぎしやすい時間になっており、羽田の受け入れ体制の問題もある。
- 問 地元の利用を2割から3割になるようにすれば、もう1便増やすことも可能では。奥能登の方から、そのような声はないのか。
- 答 能登空港利用促進同盟会などの会議もあるので、いろいろと話を聞きながら勉強していく。

## 【議案第7号】 平成28年度七尾市下水道事業特別会計予算 ◆下水道の接続について

- 問 旧の鹿北3町は下水道の接続率は高いが、旧七尾市の接続率が悪いということで、どのような対策を考えているのか。
- 答 旧七尾市内には64%で接続率が低迷しているが、最初の説明会ではご迷惑をおかけしますとお願いもしている。また、補助制度や奨励制度など加入の促進を図るため、地元説明会や供用開始などのときに随時加入の促進にあたっている。
- 問 当初の説明会で、相当年数が経つと高齢者等には接続するのが無理だということも聞かすが、繋いでもらうようお願いすべきでは。
- 答 金銭面的に無理して接続しろというのは言いにくい部分でもあるが、全体的に広報紙やラジオ等を通して、環境美化や資質向上を含めて、下水道の加入促進に努めていく。



付託  
議案 **23**件  
請願 **1**件

- 委員長/永崎 陽
- 副委員長/松本 精一
- 委員/山添 和良、伊藤 厚子、大林 吉正、  
石川 邦彦、中西 庸介、木下 孝輝

教育民生常任委員会に付託を受けた  
議案について審査した結果、  
主に下記内容が議論されました。

## 【議案第1号】 平成28年度七尾市一般会計予算 ◆少子化対策出産祝い金支給事業について

- 問 出産祝い金について、1子につき2万円となっているが、2子目、3子目も2万円ということなのか。それから、人数について3子目が何人産まれると積算しているのか。
- 答 何子目がどうかということではない。1子あたり2万円ということ。年間350人として、予算計上している。
- 問 せっかく、頑張って3子目を産んでくれるのだから、3子目を50万円ぐらいにすべき。これまで、議会が何度言っても聞き入れてもらえない。子どもが増えれば、学校も保育園も安定する。補正で減額予算もたくさんある。その分を出産祝い金に回せばよいではないか。「よし。頑張って産もう」という起爆剤になるのではないか。
- 答 出産祝い金をもらう側にすれば多いに越したことはないが、市としての対応は今のところ何とも言えない。
- 問 ちなみに、何子目に何人交付したか分かるか。
- 答 昨年度の実績は320人に祝い金を支給。第1子目が148人、第2子目が108人、第3子目が51人、4子目が11人、第5子目以降が2人となっている。

## 【議案第1号】 平成28年度七尾市一般会計予算 ◆小中高連携推進事業について

- 問 この事業は主に英語教育とあるが、どのような内容なのか。
- 答 英語力向上を目指した事業。平成27年度は、小丸山小学校と御成中学校が拠点校となって七尾高校にお願いし、その成果を市内の小中学校に発表した。国のほうでも授業をすべて英語で行うことが勧められている。その指導方法を七尾高校の英語教諭から学び、合同研修会を開催している。
- 問 その研究内容について、詳しく教えていただきたい。
- 答 今年度は、小学校にもALTを1名配置し、常にネイティブな英語を聞く機会を与えた。
- 問 教育長は、子どもの学習機会の均等と言っていたが、他の校区へ何か配慮をしているのか。1校区だけではなく、他の校区にも何か配慮すべきではないか。
- 答 平成27年度は小丸山小学校と御成中学校だけであったが、平成28年度については、市内全小中学校を連携校に指定し、事業を進めていく。

## 【議案第1号】 平成28年度七尾市一般会計予算 ◆中学校奨学金支給費について

- 問 この対象者は、要保護、準要保護の家庭で高校に進学するための一時金を支給する事業なのか。
- 答 その通り。支給額は一人上限5万円である。
- 問 昨年度は申請者が多く、支給額は3万円だったと聞いた。予算が100万円ということで、それを申請者で割ったので支給額が下がったのだと思うが、人数が多くなったら補正予算で対応して増額することはできないのか。
- 答 予算額100万円を申請者で均等割することとしている。高校進学に係る一時金ということで考えている。
- 問 年度によって、支給される金額が変動するのはいかがかと思う。予算が足りなければ子どもの支援のために一人5万円になればよいと考えている。
- 答 今後、検討していく。

## 【議案第11号】 平成28年度七尾市病院事業会計予算 ◆公立能登総合病院の給食業務について

- 問 新年度から厨房は委託から直営になるということだが、厨房職員の人件費はどこに計上しているのか。
- 答 現在の委託費として計上している。12月補正で人件費に組みかえる予定である。
- 問 来年度から直営になれば問題も出てくるのではないか。市の職員ということになるのだから、組合の絡みも出てくると思われるし、委託にしていたことによって人件費も抑えられてきたが、人件費が増加するのではないか。また、給食業務の発注は職員の管理栄養士がするの。
- 答 発注に関しては、管理栄養士・臨時含めて7名で行っていく。また、人件費の増ということで、パートを含め約25名程度の採用を予定している。当初予定していた委託費の約8,600万円を超えない形で対応していく予定。

# 教育民生

常任委員会